

令和2年度「生徒努力目標」

- ① 根気よく、主体的に学ぼう。
- ② 自分も周囲の人も、大切しよう。
- ③ 自分と向き合い、進路を切り開こう。

学校だより

茨木市立東中学校
R2年 12月25日 No.7
文責 校長 坪田 泉

コロナにも負けない

東中生！ 生徒会本部 茨木市の代表としても大活躍!!

大阪府議会議場で



府生徒会サミット参加



茨木市未来ミーティング



パワーポイントで発表



竹内先生と一緒に



2/26 街頭宣伝・募金活動 3/1・10/17 献血・骨髄バンクドナー登録会
自分たちの仲間が、再生不良性貧血という病気になり、今は骨髄移植しか治療の方法がないと知った生徒会メンバーは、中学生ができることを考え行動を起こしました。PTA・青健ネット・地域の方々の協力を得て、東中学校サポートチーム(難病の生徒を支援するためのチーム)が結成されました。街頭での募金活動や献血・ドナー登録への呼びかけを行い、計60万円以上の募金を骨髄バンク協会に送ることができました。本部役員代表が市役所を表敬訪問し、市長さんと教育長さんに協力をお願いし、市長さんは献血とドナー登録をしてくれました。

11/7「大阪府中学生生徒会サミット」
茨木市を代表して本部役員2名が参加し府議会の議場に行ってきました。今回は「大阪からいじめをなくすために～いじめを自分の問題として捉え、学校を安心して過ごせる居場所とするために～」をテーマに協議を行いました。協議の中で、一人ひとりが「いじめはなくなるものだ。」「いじめをなくしたい。」と強く思うこと、「一人ひとりの価値観は違うんだ。」と理解することがいじめをなくすことにつながっていくという意見があり、誰か一人ではなく、みんながいじめについて考え、行動を起こさなければ、いじめはなくなるということに気づきました。

12/23「中学生未来ミーティング」
茨木市役所で行われました。「スマホやゲームとの付き合い方」というテーマで、東中の生徒会が事前に兵庫県立大学准教授竹内和雄先生(茨木市小中学校スマホ・ネットリテラシー関係のアドバイザー)からの助言を受け注意すべきポイントを考え、市内生徒会の代表の前で発表しました。その後竹内先生の講義を聞き、「市(市長さん)へ」「保護者へ」「自分たちへ」提言するグループワークを行い、条例を作る、スマホ見直しの日を設定する、一緒に納得できるものを作る、など様々な提言が各グループから出されました。他校生と交流する中で自分が思いつかなかった提言を知ることができ、考えを深めることができました。

自らの行動で、生徒の力で校則改定を実現させよう!

未来ミーティングに関わってくださった竹内先生や教育委員会の方から、東中学校生徒会メンバーはすばらしい! ディスカッションでも、自分の意見を持ち、自分の言葉で答えることができるのがすごい!! とほめていただきました。台本を覚えてプレゼンするだけでなく、その場で出た質問に即答したり、他の人とディスカッションするためには、そのテーマや問題を理解し自分の意見や考えを持っていなければなりません。また、自分の意見を言うだけでなく、人の意見も聞きながら発言する力も必要です。普段から様々なことに問題意識を持ち、メンバーで話し合い、どうしたらいいか考えて、自主的・主体的に取り組んできた力が発揮されたのだと思います。そのことを評価していただけたことがとても嬉しいです。お昼の放送も素晴らしいです。今取り組んでいる校則改定は全校生徒の皆さんの協力が必要です。先生たちも応援しています。ぜひ実現してください。

福岡市長様・岡田教育長様へ
生徒会役員より
お礼の手紙(一部省略)

先日はお忙しい中、献血とドナー登録にご協力してくださりありがとうございました。本来ならば直接お礼に伺うべきですが、市長様に改めて東中学校生徒会本部役員の方々の活動内容、感謝の気持ち、多田さんへの思い、願い、そして、全生徒がその活動を通して学ぶことができたことについて、お手紙を書かせていただきました。私たちは献血・ドナー登録会について取り組みを行ってきました。学校内での呼びかけ、地域の小学校にチラシを配布し、商店街や駅前での呼びかけ、献血・募金・骨髄バンク登録会を行いました。市役所にも2度ご協力をお願いに行きました。私たちは校長先生から、今年二月の集会で、多田さんの病気について話を聞き、そこで詳しくその時の現状を知りました。中学生は献血もドナー登録もできないが、何かできることを考えてほしいと言われ、自分たちにできることはないかと考え始めました。はじめは「多田さんのために」という趣旨で行っていましたが、いろいろ学んでいくうちに今、世界中に多田さんのように苦しんでいる人がたくさんいて、そのような人は自分の力だけでなく周りの人の協力を必要としていることを知りました。私たちはこれからもそのような人のためにこの活動を続けていきます。自分たちが動き、発信していったことで周りの先生方、PTA、地域の方々にもご協力いただくことができました。このことから、考えるだけで終わらずに、それを実行することで周りに関心を持ったり、協力してくれるということを知りました。さらに、献血もドナー登録も私たちはできないけれど呼びかけをして協力者を増やすことができました。これからも自分たちにできることを探し実行していきたいと思っております。多田さんの現状は、(骨髄の型が)完全一致ではないですが多田さんのお母様が骨髄を提供し無事手術が成功しました。10月末に退院し、11月から登校しています。以前と変わらず私たちが笑顔にしてくれます。みんなが「サッカーしているところを見たい」「元気になってほしい」そう願っています。最後に私たちはこの活動を通して普段の授業以上に「茨木っ子力」にある「つながり力」を育むことができたと思います。だからこそ、自分たちの代でこの活動を終わらせずに次の代、又その次の代へとつなげていくことで、「よりよい学校」「よりよい街茨木」になると信じています。3月2日からコロナ対策で休校になる直前でしたが、感染症予防対策を行い校内で活動ができました。10月も中学生は街に出ることはできませんでしたが校内で協力することができました。コロナだからといって何もかもやめてしまわず、今本当に必要なことは何なのか考えて行うことがコロナに負けないことだと思っております。私たちは今までにないWithコロナの時代を、どうやって生きていくのか考えて取り組んでいきたいと思っております。これからも東中学校の活動に引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

令和2年12月17日 茨木市立東中学校 2年 坂井 恒太 上田 直生

伝達表彰
コロナ感染症予防対策をしながら、1・2年生の新チームが頑張っています。保護者の皆さまには引き続き、校内での観戦をご遠慮いただくなど感染症予防対策にご協力お願いいたします。

バドミントン部
◎茨木市内大会 (11月8日)
男子シングルス 準優勝 伊藤 巧
男子シングルス 第3位 小竹 康太郎
女子シングルス 優勝 森川 心暖
◎第9回茨木市中学生バドミントン大会(11月29日)
男子の部 団体 優勝
1月30日の大阪選手権大会に茨木三島地区代表として出場決定

野球部
1年生交流大会 3位 12月13日
秋季茨木市中学校軟式野球大会 優勝 11月15日

ラグビー部
豊能・三島地区秋季大会 茨木・摂津四コンビンド 優勝 11月7日

ソフトテニス部
茨木・三島地区新人大会 9月5日
団体 第3位
松本 陽向汰・曾我 治幹
松浦 央汰・西田 翔太・中村 隆嗣
茨木市ソフトテニス連盟第47回大会
11月7日 1年生の部
準優勝 吉田 博登・中村 悠太郎ペア
第3位 森下 雄真・堀 智樹ペア
11月14日 1年生の部
団体 優勝
森下 雄真・堀 智樹・吉田 博登
中村 悠太郎・村上 慎・東 煌太